

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽぷら園			
○保護者評価実施期間	～			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0 (利用児童がいません)
○従業者評価実施期間	令和6年9月9日 ～ 令和6年9月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、お子様と保護者様のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていること	児童発達支援管理責任者が中心となり指導員の意見を集約し、ニーズや課題を客観的に分析している。また、個別支援検討の開催の中で全職員の意見を集約し、支援方針を共有している	個別支援計画の内容が実行されているか、モニタリング時期や最終評価時期に全職員で検討している
2	関係機関との連携ができている	他機関が主催する担当者会議等にも積極的に参加している。また、必要に応じて学校での様子の見学や担任の先生との意見交換を実施している	事業所外での過ごしやすさに貢献できるように関係機関との連携に積極的に取り組んでいく
3	日ごろからお子様の状況を保護者様と伝えあい、お子様の健康や発達の状況について共通理解を深めること	送迎時等に保護者様と話し合いを行い、共通理解を深めている	モニタリング面談、アセスメント面談の他にも家族支援として、面談等の時間を充実させ、共通理解を深めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの安全確保に関して、職員間での周知は徹底出来ているが、安全計画に基づく取組内容や避難訓練の実施内容をご家族様に周知していきたい	安全管理に必要な研修や訓練をお便り等で必ずしも発信できていない。マニュアル一覧をホームページに掲載しているが、ホームページの活用が出来ておらず、十分な周知に至っていない	連絡帳やHPを活用して定期的に避難訓練等の様子を発信していく
2	外部に開かれた教室運営を行う必要がある	外部の方に参加していただく機会がなく、また、利用者、保護者様によっては交流を求めている場合もある。	利用者様、保護者様の意向を把握したのち個人情報に配慮した取り組みが実施できるよう内容を検討していく
3	非常勤職員の意見を聞き取る場が少ない	情報共有の場が始業後すぐと終業時になっており、非常勤職員の勤務時間と重なっていない為意見交換する場が少なくなっている。	引継ぎノートやメモを活用し、業務の流れを把握できるよう工夫する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ほぶら園
------	------

公表日 令和6年 10月 28日

利用児童数 現在利用児童はいません 回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ぼぶら園		令和6年 10月28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	状況や活動内容に合わせて環境設定を行っています。	プログラムや利用人数によっては手狭に感じることある為、訓練室の使い方を工夫し対応していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員配置は満たしており、必要に応じて配置人数を増やしています	より良い支援が提供できるように状況に応じて人員確保を行っています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		入口の段差は最小限でフロア一面にジョイントマットを敷いています。 視覚支援を用いています。	個々に合わせた環境配慮を今後も考え、取り入れていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		支援前、支援後には掃除や消毒作業を行っています	今後も環境整備を行っていきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		訓練室とは別に部屋があるので、クールダウンする際に使用しています。	今後も安心して過ごしていただける環境づくりに努めます
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	朝礼にて一日の流れ、共有事項の確認を行っています。	朝礼に参加していないスタッフへの情報共有が万全でない為今後の課題としています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケート実施後、職員間で問題点を話し合い業務改善に努めています。	今後も保護者の方が意見等を伝えやすい環境、雰囲気を作っていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼や定期的な会議を行っています。	今後も継続して行ってまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		堺市の事業者育成事業に申込し、業務改善に繋げています。	今後も継続して行ってまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修には積極的に参加しています。参加した者は会議録をまとめて全職員に共有しています。内部研修も定期的に行っています。	今後も積極的に外部研修に参加し、知識、技術の向上に努めていきます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		個々の特性に合わせて作成し公表しています。	引き続き利用児童、保護者様の意向やニーズをお聞きし、より良い支援プログラムを作成していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		日々の支援で児童の状況をよく観察し、本人やその保護者様の意向を丁寧に聞くよう心がけています。	子どもの意志の表出・形成・表明・実現の過程を大切に、適切なアセスメントを行えるよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画については職員間で話し合い必要に応じて修正しています	今後も継続して行ってまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		日々の記録を元に立案し、会議にて決定しています。週単位で目標設定し支援を行っています。	今後も継続して行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールを使うとともに、必要に応じて改善を行っています。	今後も、日々の行動観察の共有を大切にしていきます
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		令和6年度の法改正に基づき、必要な項目の設定を行っています。それに基づき、具体的な支援内容を協議・検討しています。	ガイドラインについては、内容や重要事項について職員間での共有に努めます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員間で個々の児童の成長、特性に合わせて支援計画を元に行っています。	個に応じたきめ細かいプログラムを提供できるよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	休日は野外活動やクッキング、買い物学習を行っています。	情報収集に努め固定化しないよう取り組んでいます

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		支援の目的や児童の状況に応じて対応できる体制をとっています。	今後も子供の状況に応じて、臨機応変に対応していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	朝礼を行いその日の活動を確認、注意事項等の情報共有をしています。	朝礼に参加していないスタッフへの情報共有の徹底に努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	現状、送迎の関係で支援終了後の打ち合わせ時間を設けておりません。翌日の朝礼にて情報共有をしています。	気づきについては、普段から職員間で共有できるようにそれぞれの発信を大切にしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々記録を取り、支援の検証、改善に努めています。	子どもの姿を適切に捉え、誰が読んでも分かりやすい記録の書き方に留意していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に一度、モニタリングを行っています。児童の様子や保護者様からの意見があればその都度、相談見直しをしています。	今後も継続して行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が出席しています。	引き続きケースに合った情報提供ができるよう努めてまいります
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		問題ごと等があればその都度関係機関と連絡を取り情報共有に努めています。	今後も継続して行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		円滑な情報交換ができるように、積極的に挨拶や情報共有をさせて頂いています。	より積極性をもって情報共有を行ってまいります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		担当者会議に出席したり、相談支援を通じて情報提供しています。	今後も継続して行ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。	7		研修に積極的に参加し、助言・アドバイスをもらっています。	あらゆる機会をとらえて助言・アドバイスを受け、より効果的な支援につなげていきたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	事業所として催し等の交流の場を提供していませんが個々に交流されています。	子どもや保護者様のご意向等も確認したうえでの提供に努めてまいります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時には保護者様に当日の活動内容の様子をお伝えするようにしています。	送迎時の情報共有や、定期的な聞き取りを継続していきます。また、それ以外でもご希望がある際は面談を通して共通理解に努めます
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	現段階では実施や情報提供が出来ていません	まずは職員がペアレントトレーニングについて知識や技術を習得するとともに、ご家族様に対して研修の機会や情報提供ができるよう努めます
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や変更事項が生じた場合は、保護者と対面等で丁寧な説明に努めています	分かりやすい丁寧な説明を心掛けていきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者の意向やニーズはもちろん、子供の気持ちや意思も尊重しそれぞれの子供にとって最適な支援計画を作成するように努めています	子供の意思の尊重と最善の利益の優先考慮も踏まえた上で意思形成支援、意思表明支援も合わせて行ってまいります
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		保護者様へ個別支援計画の内容をお伝えし同意を頂いています。	丁寧な説明を心掛けていきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時の情報共有の他に、電話連絡や個別での面談に対応しております。	日頃の話しやすい雰囲気とコミュニケーションを大切にしています

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	現状、保護者会等の交流の場を設けておりません。	慎重に検討してまいります
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		お子様や保護者様から相談の申し入れがあった際には適宜対応させて頂いております。	相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	毎月、予定表や活動記録をお渡ししております。	HPがありますが、十分な活用に至っていないので今後の課題としています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		事業所内では鍵のかかる場所に個人情報を保管しております。	個人情報については細心の注意を払うよう努めてまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個の特性に応じた情報伝達に努めています	出来る限り配慮していきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	事業所の行事に地域の方が参加する機会は今の所ありませんが、お買い物学習にて交流することがあります	引き続き、買い物学習にて交流を図っていきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定し、ホームページに掲載しております。定期的な訓練を行っています。	マニュアルの策定および訓練の実施をしておりますが、マニュアル説明が充分でなかったり、訓練後の報告が徹底されていなかった部分もあるため、今後は、保護者様へのご説明とご報告を徹底してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP計画は策定済みです。定期的な訓練を行い実際に災害が発生した際も迅速な対応ができるよう取り組んでいます。また、実施時は記録を残しています	BCPに関しては、研修などを通じて理解を深められるよう努めてまいります
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		事前に保護者様からのアセスメントシート記載をもとに職員に周知しています	服薬内容の変更等も、適宜聞き取りを行い最新情報の共有に努めます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者様からの情報（医師の指示、指導）に基づき、対応する事としています	おやつを提供しているので、細心の注意を払っております。事前聞き取りやご提出書類等で確認しておりますが、変更等に備え適宜聞き取りを行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づき、定期的に環境整備を行っています。	リスクの高い場面に対しても、綿密な企画立案にて、支援を行うよう努めております
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5	安全管理に関する事項について、日頃から職員間で共有しております。	職員間での周知にとどまっており、今後は保護者様への周知にも努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		口頭、書類で共有しています。事例発生時にはその都度記録で残し、対策を話し合い実践しています。	今後も継続し事故防止に努めてまいります
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に虐待防止に関する研修（社内・社外）に参加しています。疑われる事案についてはミーティングの場で協議検討、対応しています。	今後も継続して行なってまいります
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束に関しては、ご契約時に説明しております。	事案がある際は適切に対応していきます